

令和5年度活動報告

松原悦子

今年度はコロナ感染症が5類に移行されたことから、人の動きの制限が緩和され、より沢山の方に様々な事業に参加して盛り上げていただきました。

【活性化事業】

○活性化も発足して24年を経過し、地区の状況が少子・高齢化が進んできたことから、総務部会を中心に昨年度から組織・事業の見直しに取り組んでいただきました。地区全世帯を対象にアンケートを実施し、地区に必要とされる事業は何なのかを把握する作業を行いました。活動の認知度の低さに少なからずショックを受けました。それをふまえ意見の集約をして、12月の臨時委員総会で承認され令和6年度に向けて準備をしているところです。新しく取り組む事業があることから、仕分けをしながら進めなければならないと思います。

年間の活動としては、事業計画に沿って6部会を実施しました。特筆すべきは、コロナ禍で事業が開催出来ていなかった健康スポーツ部会の活動で、健康ウォーキング・eスポーツ体験交流会を実施できた事です。定番の「ふるさと小包便」の発送・一斉清掃・83鉢集まり見ごたえのある菊花展・ハロウィンイベント・歴史講演会など、人が沢山集い色々なお話を伺い賑わいが創出出来ました。本年度は、町HPにて集落支援の活動を紹介して頂き、少しでも地域の魅力が発信できれば有難いことだと感じています。



菊花展の様子



eスポーツ交流会

【公民館事業】

○高齢者学級や女性学級・各種同好会のほか、夏休みのお楽しみ講座や土曜授業・michikusa 園児との交流事業等盛りだくさんの一年になり、人と触れ合う機会が多く嬉しい事が多かったと感じています。

2月の「39回たたらまつり」には地域の方の作品を多数展示することが出来ました。2階の特別展会場にはレプリカの「拓土の像」や、50年前の式典で小学生が埋めたタイムカプセルの中身が展示され、二部地区の教育の歴史が分かる興味深い展示となりました。実行委員のみなさんに盛り上げて頂いたと感謝します。以前の公民館まつりのように、飲食も出来るようになり広い年代の方に楽しんで頂いたと思います。



夏休みお楽しみ講座 座禅の様子



michikusa 園児との交流